

□□□□□ 御中

○●●○講演会 講師案

パーカッション奏者としての桑田佳佑とのバンド活動、筋肉少女帯・イカ天・五木ひろし・福山雅治のプロデュース。

音楽業界のビッグネームである今野氏が語るイノベーションとは。熊本市アンバサダーとして地域振興に注力し、復興と音楽活動を結びつけるなど、新しい仕事を常に追い求める。

※講演最後に迫力の打楽器の演奏コーナーを入れることも可能です。

- 今野 多久郎 音楽プロデューサー、(株)Tac-Tic 代表取締役
心理学者と打楽器奏者のユニット「SteReo」主宰
熊本市 MICE アンバサダー
- テーマ例 : 「地域おこし」と「人」、そして「音楽」



1956年東京都豊島区に生まれ。
1986年「KUWATA BAND」に参加、リーダーを務める。
1988年株式会社ポタージュ設立、代表取締役就任。
1989年TBS「三宅裕司のイカすバンド天国」通称「イカ天」の企画・立案、プロデュースおよび出演。
1990年TBS「別冊イカ天ベスト天」メインパーソナリティ。桑田佳佑監督作品、映画「稲村ジェーン」出演、及び、音楽シーン助監督。サウンド・トラック「サザンオールスターズ&オールスターズ」レコーディング参加。
1991年～TBS「えびぞり巨匠天国」「天下御免ね」プロデュース。桑田佳佑「SUPER CHIMPAN ZEE」参加。北京、香港でライブ。プロモーションP

V、監督、制作。

1999年～ソフトバンク子会社にて、インターネット音楽情報サイト「パークス」立ち上げ。ネットにおける著作権等の問題に関わる。

2003年～パークスにて、インターネットラジオ、スタート。毎回ゲストを迎え、生放送約500本を制作、出演。

2005年毎日新聞エンタメ・タブロイド紙「Back STAGE」編集長を務める。毎月一回発行、1年8ヶ月、18刊制作。ニューヨーク、ロス、マイアミ、シアトル、上海などの音楽事情を現地取材、特集する。

2007年～株式会社アミューズから業務委託、新人開発の業務を始める。2012年音楽プロデューサー、打楽器奏者として活動再開。

2014年3月株式会社「Tac-Tic」設立。代表取締役。心理学者と打楽器奏者のユニット「SteReo」主宰多くのプロフェッショナルとの異文化コラボレーションによる、「楽しく学べる」ワーク・ショップ、セミナーなどの発案、推進、普及を目指す。2015年～熊本市 MICE アンバサダー就任

※最後に パーカッションの演奏を入れることが可能です

愛知淑徳高校にてソフトボールでインターハイ出場。
日本体育大学に進学しソフトボールでインカレ4連覇。
全国大会入賞多数。
16年間の高校教員を経て、短大広報課長、高校広報課長、
高校教頭と6年間管理職に就く。
2003年6月乳ガン・第四期・生存確率30%と宣告されるも克服、
健康の重要性を痛感。

■かとう 由佳 元気プロデューサー
テーマ例 : 「今を生きる」



1960年 愛知県一宮市生まれ。

愛知淑徳高校にてソフトボールでインターハイ出場。

日本体育大学に進学しソフトボールでインカレ4連覇。全国大会入賞多数。日本体育大学体育学部体育学科卒業後、一宮女子高等学校(現・修文女子高等学校)勤務。16年間の高校教員を経て、短大広報課長、高校広報課長、高校教頭と6年間管理職に就く。

2003年6月 乳がん第四期生存確率30%のため入院。

2004年3月 学校法人一宮女学園(現・学校法人修文学院)退職。

(財)東京大学運動会スポーツマネジメントスクール課程履修。

2005年1月 元気倶楽部全国展開スタート。

2009年1月 NPO法人元気健康活動協会設立

2012年5月 元気倶楽部から株式会社元気クラブステーションに組織変更。

2011年～ 大阪市立大学 非常勤講師

2016年1月 DreamCitrine 女子ソフトボールチーム事務局就任。

日本女子ソフトボールリーグ2部所属 一宮市ホームタウン認定チーム

2018年1月 元気アカデミー開講予定

2003年6月乳ガン・第四期・生存確率30%と宣告されるも克服、健康の重要性を痛感。これからの人生は、病気の体験を生かして人の役に立ちたい、と思い独立。

2009年より『元気健康フェスタ ピンクリボン一宮』(一宮市市民活動支援活動事業)を開始。

収益の一部をピンクリボン活動団体に寄付。2018年11月で第10回目を迎える。

『元気健康』をテーマに講演活動や「人間関係を円滑にする」ための教室や「夢実現を加速する」のための教室運営、スポーツ選手や一般対象にはメンタルトレーニングやリラクゼーション等個別対応もしている。

日本人の話し下手は、話し方を学ぶ環境と機会があれば向上する！！

■神田卓朗（かんだ たくお）方言研究者／元岐阜放送アナウンサー
元岐阜女子大学文化創造学部教授

テーマ：「気がつけば方言」～ふるさとの言葉文化財～
「なまるが勝ち」「アクセント比較・方言VS共通語」
「魅力がある話し方」



■プロフィール

生まれ育ち 大阪府大阪市阿倍野区
現在の仕事 東海学院大学 人間関係学部子ども発達学科教授
(2年目)
前の仕事 岐阜女子大学文化創造学部観光文化学科教授(8年間)
元の仕事 岐阜放送アナウンサー(31年間)
専門分野 日本語の音声表現・中部地方の方言・岐阜県の地域文化
所属学会 日本音声学会(会員)にわか学会(委員)岐阜学会(前代表委員)
担当番組歴 ホリデイヒットポップス、ヤングスタジオ1430、さわやかワイドぎふTODAY、今小町発ナイスディ、ま

ーへー3時半ほか

■主な著作

「岐阜弁笑景スペシャル」(サンメッセ企画出版部1997年)
「岐阜弁笑景スペシャルパート2」(サンメッセ企画出版部2002年)
「笑いの芸能にわか～発掘!岐阜の庶民文化」(岐阜新聞2002年)
「三重弁やん」(風媒社2017年)
「岐阜弁まるけ」(風媒社2019年)

■連載歴 岐阜新聞「気がつけば岐阜弁」(6回)、中日新聞コラム「道しるべ」(15回)
岐阜新聞「おもしろ岐阜学入門」(35回)、
岐阜新聞「笑いの芸能にわか」(60回)、
月刊ぎふ「ふるさとネットワーク」(130回)、
月刊タウン情報ぎふ「岐阜弁笑景」(76回)ほか

■講演テーマ 「気がつけば岐阜弁(方言)」～ふるさとの言葉文化財～・「なまるが勝ち」
「アクセント比較・方言VS共通語」「岐阜県のおもしろ地域文化」
「魅力がある話し方」「効果的なプレゼンテーションの話し方」…など

長年ラジオ番組のパーソナリティーとして活躍した軽妙なトークで方言おもしろ体験エピソードや案外知られていない方言ミニ知識を楽しくご紹介します。

講演会に参加した人たちの感想は、「忘れかけていた方言をよみがえらせていただき楽しい一時でした」「神田さんの話に大笑い。笑いすぎて涙が出てきました」「流石は元アナウンサー。話し方に魅力があります」「岐阜弁を再認識しました。笑いの90分をありがとうございました」「神田さんのユーモア溢れる語り口で三重弁の特徴が良く分かりました。方言を卑下することなく使って行きたいと思いました」などどの会場でも好評です。